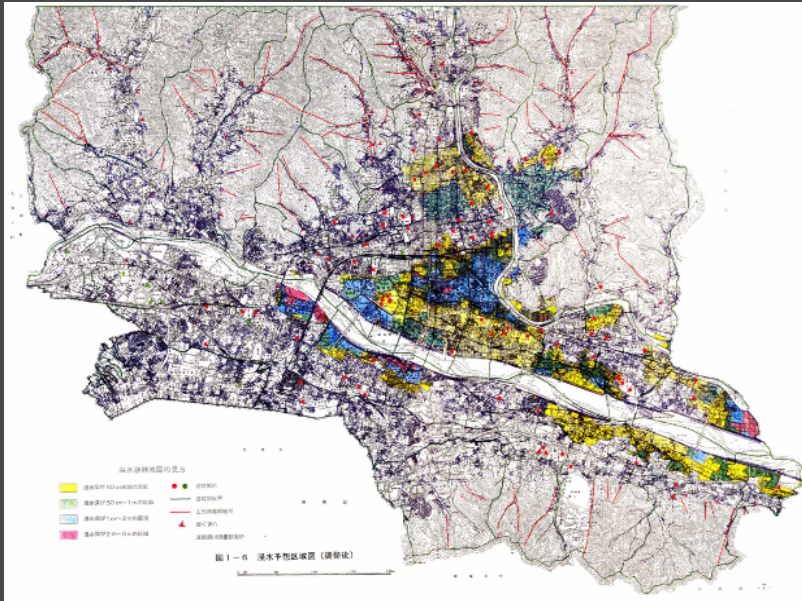
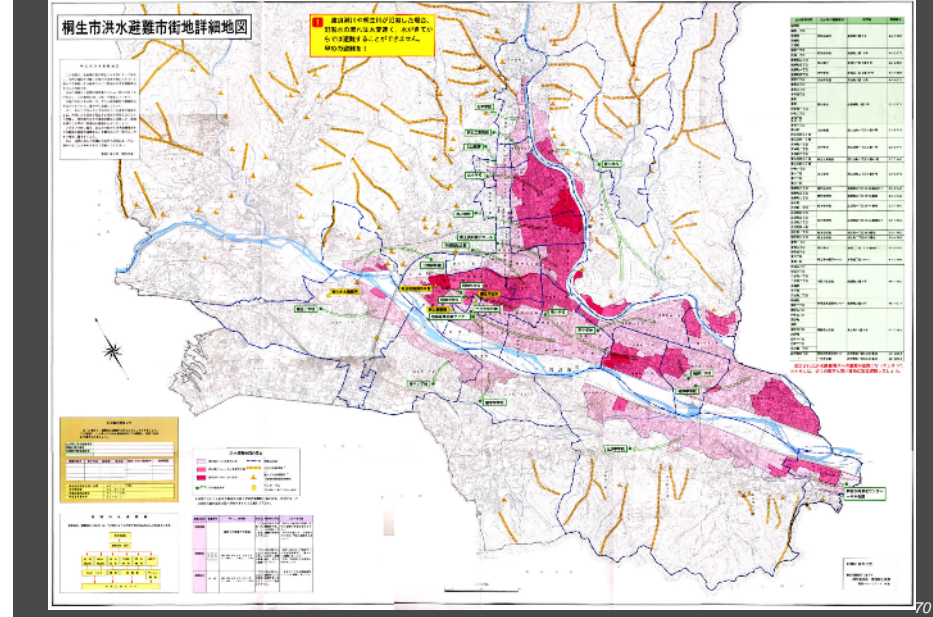


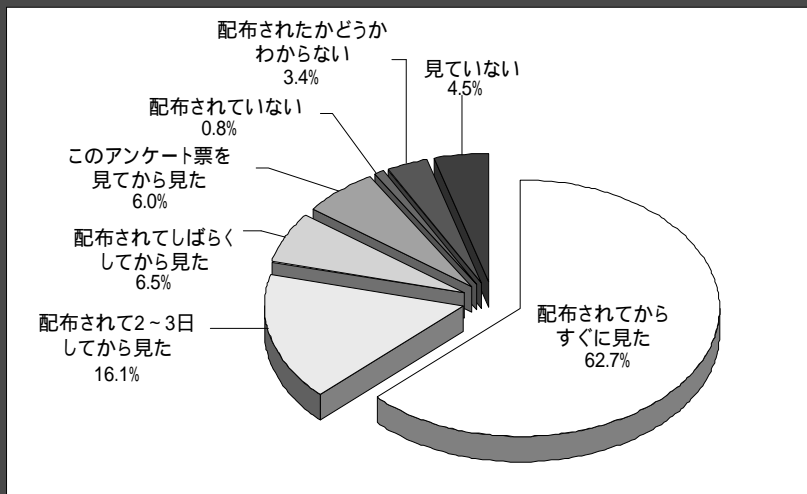
桐生市洪水ハザードマップの経緯



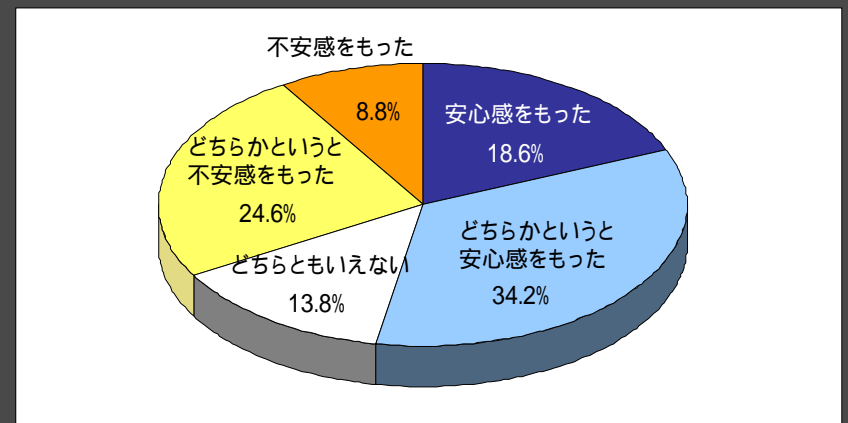
桐生市洪水ハザードマップ



桐生市洪水ハザードマップの閲覧状況



桐生市洪水ハザードマップを見た住民の意識



過半数が安心感を持った

必然的に歪む浸水危険情報

情報理解の非対称性

好ましい情報は積極的に受け入れられ、
好ましくない情報は受け入れられない。

たとえば、

交通事故 ↔ 宝くじ
ハザードマップ ↔ 埋蔵金マップ

確実な避難行動の確保(そなえる)

～ハザードマップに命を吹き込む工夫(草津市)～

- 住民協働によるハザードマップ作り
浸水想定区域図を基に、住民自ら避難経路等を選定し、洪水ハザードマップ作りに参画



- ハザードマップ配布に合わせた洪水避難訓練
マップの配布5月1日、訓練実施5月27日

 - ①行政内情報伝達演習
 - ②洪水避難訓練
 - ③洪水に対する体験と学習
 - ④水防訓練

「ハザードマップを作る」ことが目的化?

水防法の改正(平成17年)

浸水想定区域の指定対象を主要な中小河川に拡大

- ・ 現行(当時)の洪水予報河川のみならず、主要な中小河川でも浸水想定区域を指定
- ・ 避難場所等の洪水ハザードマップ等による周知措置の徹底

浸水想定区域指定対象河川：
222 (H13) 約2,200河川 (H17)
対象市町村： 約1,100 (H13) 約2,300市町村 (H17)

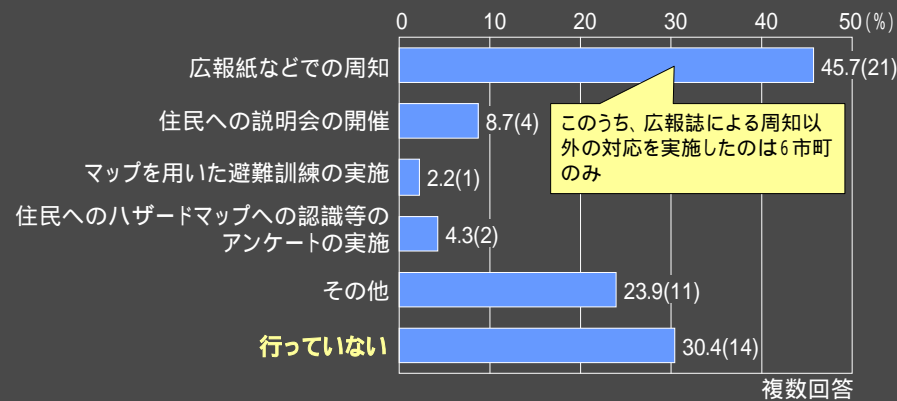
ハザードマップを作らなければならなくなった市町村が大幅に増加



「ハザードマップを作る」ことが目的化してしまっている

洪水ハザードマップ公表に際して実施した対応

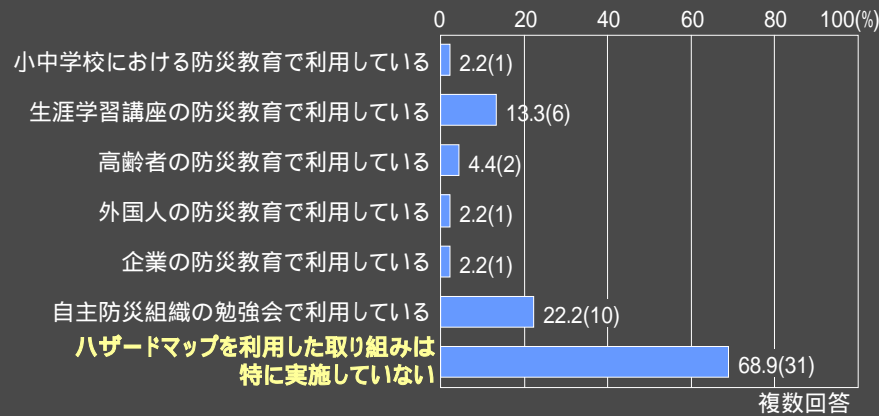
ハザードマップの作成・改訂に関する市町村アンケート調査より
(愛知県の66市町村を対象に実施)



公表に際して何も行わなかった市町は約30%
多くは広報などによる周知にとどまる

洪水ハザードマップの活用実態

ハザードマップの作成・改訂に関する市町村アンケート調査より



作成し、公表さえすればよい？

ハザードマップを通じた住民との
リスク・コミュニケーションはほとんど行われていない

77

居安思危（こあんしき）

居安思危 思則有備 有備無患

安きに居りて危きを思う
思えばすなわち備えあり
備えあれば患い無し

出典：「春秋」の注釈書「春秋左氏伝」 左丘明の作と伝えられる
春秋：孔子の編集の史書。前480年頃の編集と伝えられる年代記

78

ご清聴ありがとうございました